

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1030
施設名	赤坂ちとせ保育園
施設所在地	東京都港区赤坂4-7-15
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

シャボン玉

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・子ども達が日常の遊びの中でシャボン玉に興味を示し、「どうしたら大きくなるの?」「たくさん遠くへ飛ばしたい」など、不思議さや発見を楽しむ姿が見られたので、テーマとして設定した。
- ・自分なりに試したり工夫したりすることから、探究的な姿につながり、また友達と一緒に共有しながら遊ぶことで、協同性や表現力も育まれる活動に発展すると考え設定した。

## 2. 活動スケジュール

- ・日頃から、玄関前で各クラスシャボン玉遊びを楽しむ姿が見られていた。
- ・9月29日にシャボン玉ショーを見る。
- ・「どうしたら大きいシャボン玉ができるか」、5歳児が話し合い園にある容器やポイを変えながら試す姿が見られた。
- ・2月26日に5歳児が科学技術館に行きシャボン玉体験をしてくる。園に戻り、どうやったら大きなシャボン玉ができるか話し合う姿があった。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

シャボン液・ポイ(種類のちがう)・形や大きさの違う容器・テーブル

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・子ども達が興味を持っているシャボン玉遊びを通して、「どうしたら大きなシャボン玉ができるのか」「たくさん飛ばすにはどうしたらよいか」など、自分なりに考えながら試す活動を行った。
- ・色々な種類のホイや容器を用意し、吹き方や動かし方を変えながら繰り返し挑戦した。その中で、子ども達同士で気づきを伝え合う姿も見られた。
- ・友達のやり方を真似したり、一緒に方法を考えたりしながら遊びを深め、試行錯誤する楽しさや発見する喜びを経験できるよう関わったり見守ったりした。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・「どうしたら大きくなるか」「たくさん飛ばせるか」などを子ども達が考えながら試す活動を行った。「ゆっくり吹いたら大きくなった」など、気づいたことを言葉で伝える姿があった。また、何度も挑戦しながら、自分なりに工夫して遊びを楽しむ姿が見られた。
- ・子どもの気づきや発見に共感し、「どうしてかな?」「ほかのやり方もあるかな?」のどの声をかけながら考えを深められるよう関わった。また、子ども同士のやりとりを見守りながら、必要に応じて道具や環境を整え、安心して試したり挑戦したりできるよう援助した。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達は「できた・できない」だけでなく、試しながら変化を発見する過程を楽しんでいることに気づいた。
- ・道具や環境を少し変えるだけでも子どもの興味や発見が大きく広がるため、子どもの「やってみたい」が続く環境作りの重要性を感じた。
- ・一人ひとりで興味や関心をもつポイントや試し方が異なるため、それぞれの気づきや思いを丁寧に受け止めることの大切さを再確認した。